

三島森田病院

第7回 ホスピタリティ コンサート

音楽療法として、言葉を介さず一流の音楽により、心と身体の調子を整え
感動を体験することを目的としてコンサートを開催します

森田 満留 & 森田 竜一
Cello & Piano Duo Concert

Program

- J.S.バッハ : 管弦楽組曲BWV1068より第2曲『G線上のアリア』
G.フォーレ : チェロとピアノのための小品集より
①ロマンスイ長調Op.69 ②シチリアーノ短調Op.78 ③エレジーハ短調Op.24
J.ブラームス : 6つの小品Op.118より間奏曲イ長調アンダンテ・テネラメンテ (ピアノソロ)
C.ドビュッシー : ベルガマスク組曲より第3曲『月の光』 (ピアノソロ)
A.ピアソラ : オブリビオン
A.ピアソラ : リベルタンゴ
S.ラフマニノフ : チェロとピアノのためのソナタより第3楽章変ホ長調アンダンテ
M.d.ファリャ : スペイン歌曲集G.40
①ムーア人の織物 ②ナナ ③カンシオン ④ポロ ⑤アストゥリアの歌 ⑥ホタ



森田 満留 (チェロ)



森田 竜一 (ピアノ)

2024.7.25 (木)

開場 13:30 開演 14:00

三島市民文化会館

ゆうゆうホール 大ホール

入場無料 全席自由 事前申込等不要です

入場対象者 乳幼児を含めどなたでも入場できます

◎お問い合わせ先 三島森田病院 TEL : 055-986-3337



■ 主催 三島森田病院 ■ 共催 三島市

三島森田病院の森田療法とは

森田療法は、東京慈恵会医科大学 精神科の初代教授であった森田正馬（もりたまさたけ）が100年前に創始した神経症（不安症・強迫症等）に対する日本発の精神療法であり、現在の当病院の理事長・院長森田正哉はその曾孫にあたります。本療法は薬物によらず症状を「あるがまま」に受け入れることで健康な日常生活を回復させていきます。本療法では、神経症の根底にある不安や死の恐怖は自然な感情であり、より良く生きようとする人間本来の欲望（生の欲望）と表裏一体の関係にあるものと理解します。にもかかわらず神経症の患者さんは、自己の不安を排除することに努力を傾ける結果、かえって不安が増幅し症状にとらわれていきます。本療法の核心は、このようなとらわれを打破することであり、太陽の光を浴び土に勤しむ農業や工芸を通じて生活のリズムを取り戻し、患者さんが自己の不安も生の欲望も自然な人間性として受容し、「あるがまま」の自己を現実に生かしていけるよう治療していきます。尚、当初は神経症が対象とされておりましたが、ストレスの多い現代社会において薬物療法では限界のある難治といわれる多彩な症状に対しても、病態によっては本療法の効果が確認されております。

Duo Morita

1992年の結成以来、日本とヨーロッパの各地で幅広い活動を行なっている。1998年イタリアで行なわれた第8回カルロ・ゾリヴァ国際室内楽コンクールにて1位なしの2位を受賞。2001年ベートーヴェン、ベルク、フランク等の作品、又2010年にはバッハ、フォーレ、ショパン等の作品によるCDを録音している。2000年より毎年デュッセルドルフ市で、テーマを持ったコンサートを開き、既に12回を数えている。(2000年「現代曲の中にみる伝統の流れ」(日本領事館主催、日本年特別企画コンサート)、2001年「ドイツ、フランス音楽の夕べ」、2002年「ロシア音楽の夕べ」、2003年「パリに生きた作曲家たち」など)。またさまざまな都市でサロン形式で、聴衆とのコミュニケーションを持てる演奏会を頻繁に行なっている。現代曲の紹介にも意欲的で、2003年には依頼されてH. カールホフの「インパルス」を世界初演している。デュオ・モリタの演奏の深い精神性と多彩な音色からもたらされる色彩の世界は、多くのファンを魅了しており、ドイツ各地で行なわれるコンサートでは常に立ち見ができるほどである。日本では2002年より定期的に東京、愛知、岐阜、大阪、北海道などでコンサートを開催しており、好評を博している。

Profiles

森田 満留（もりた みつる）チェロ



1964年名古屋に生まれる。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、1984年東京芸術大学音楽学部器楽科入学。1988年同大学大学院入学。在学中の1989年に渡欧し、1995年までドイツ、デュッセルドルフのロベルト・シューマン国立音楽大学にて学ぶ。1995年ドイツ国家演奏家資格を取得。その後2年間ライン・オペラ座管弦楽団に在団。現在はフリーのチェリストとして、夫竜一とのデュオを中心に、さまざまな室内楽の活動を行なっている。また現代音楽アンサンブル、notabuのメンバーでもある。ソリストとしても東京芸術大学在籍中の1986年、日本演奏家連盟賞を受賞し、同年、そして1990年に名古屋フィルハーモニー交響楽団とコンチェルトを協演している。現在までに堀江泰氏、山崎伸子、三木敬之、松下修也、E. ニッフェンエッガー、J. シュタルケル、D. シャフラン、R. フラシヨ、C. ライヒャルトの各氏に師事。

森田 竜一（もりた りゅういち）ピアノ



1963年横浜に生まれる。1988年桐朋学園大学音楽学部卒業。1989年より1990年までザルツブルグ、モーツァルテウムに在籍。1990年よりドイツ、エッセンのフォルクバンク国立音楽大学にて学ぶ。1996年国家演奏家資格を取得。1997年よりロベルト・シューマン国立音楽大学に講師として勤務する傍ら、室内楽奏者として精力的な活動を行なっている。又ソリストとして、ポーランドのオースティン、韓国のマーサン・シティ交響楽団等に招かれてコンチェルトを協演している。現在までに加藤伸佳、A. コンタルスキー、M. ダイヒマン、B. プロツホ、M. ロール、T. ニコライエワ、J. デームスの各氏に師事。

- ・ 第8回公演：9月21日(土) フルート&ピアノ (長泉町ベルフォーレ ホール)
- ・ 第9回公演：12月28日(土) ヴァイオリン&ピアノ (長泉町ベルフォーレ ホール)